

組織運営のコツ



日の出町立大久野小学校

児童・生徒数：319名
(令和2年5月1日現在)
芝生化面積：3,810m²
芝生完成年度：平成25年度

地域の学校の優しい校庭芝生で、
今後も強める児童との信頼

日の出町立大久野小学校

校長 上田 忠之 (写真左)

副校長 古瀬 義房 (写真右)



校庭芝生化のスタート

平成25年7月から校庭芝生化の工事を開始し同年9月に終了しました。同時に「芝生管理ボランティア (Ohguno Green Network)」の募集を始め、現在では保護者・地域の方約40名です。5月から10月まで月に1回活動しています。上田忠之校長は初めて校庭芝生を見たとき、爽やかさと涼しさを感じました。熱中症を心配した昨年5月の運動会では、芝生の快適さ優しさも実感しました。



人に優しい校庭芝生と地域とのつながり

維持管理の責任を担っている古瀬義房副校長は、生活指導の面から登校時の児童の流れや、芝生を使うルールも設定しました。前任者・環境整備の担当教員と密に連絡を取りつつ芝生保護優先ではなく、児童のための芝生を基本にしています。その芝生でリラックスする児童もいれば、思いっきり自由に動き回る児童もいます。転んでも余り痛くないので、運動会に器械運動の要素を取り入れ、表現の幅を広げることもできています。

3世代同窓生という家庭もあり、地域の学校という感覚が強いです。子供が卒業しても「芝生管理ボランティア」を続ける方もいます。大久野小学校の児童は地域の方や教員など大人を信頼していますので、その信頼に応え絆を一層強めるのに校庭芝生での活動が役立っています。



芝生の役割とこれからの展望

地域連携をはじめ芝生の維持管理は教員にも協力してもらっていますが、本校の教員は積極的に関わっています。そこに甘えることなく学校内での役割として、組織の組替えを図っていきます。御多忙の中、厚意で支援して下さるボランティアの方への御挨拶やお礼に加え、活動レターを発行して成果を発信し続けたいです。地域の方は芝生の状態を良く観察しておられ、状態を褒めてくださることもあります。いつも高評価をいただくのは難しいですが、引き続き校庭芝生に関心を向けていただければうれしいです。

